

患者の皆様へ

2020年12月24日

消化器内科

現在、消化器内科では、「肝疾患の治療経過および予後因子」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では肝細胞癌の患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「肝疾患の治療経過および予後因子に関する研究」

2. 研究の意義・目的 「肝疾患と診断され治療あるいは経過観察を行った患者様における転機および予後を明らかにする」

3. 研究の方法 「2003年1月から2020年12月までに当科を受診し、肝疾患と診断された患者様を対象として、診療録に記載されているデータ（患者背景〔生年月、年齢、性別、身長、体重、既往歴など〕、自覚症状〔痒み、浮腫みの有無など〕、治療経過、血液検査〔肝機能検査、腫瘍マーカー、肝炎ウイルス検査など〕、病理検査、画像検査〔超音波検査、CT検査、MRI検査など〕、転機など、を過去に遡って照査する」

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学医学部附属病院消化器内科臨床研究室の鍵のかかる棚で保管します。

5. National Clinical Database (NCD) への提供について

本研究で得られた臨床データの一部を、National Clinical Database (NCD) へ提供いたします。その際に、個人が特定されないように匿名化の上、データを登録いたします。

6. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院消化器内科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院消化器内科

医師 加藤直也、中村昌人

043 (222) 7171 内線5241 (消化器内科医局)